

# 事業所自己評価シート

## 職員による自己評価

### 1.環境面

- ・始まりの会・終わりの会の際お子様・保護者が全員座では狭いのではないか。
- スタッフの出入りもありリスク面で心配

### 2.児童への支援内容

- ・面談ができていないお子様がいる
- ・新規のお子様への情報・対応対策が充分になされていない。

### 3.関係機関との連携

- ・療育センターや他のデイとモニタリングでの意見交換など行っている。

### 4.保護者への説明責任・信頼関係

- ・来所時、帰所時に保護者の方にお子様の様子・状態を確認・相談した。

### 5.非常対応

- ・支援スペースの移動など環境の変化に順応できるようもって誘導スタッフとの連携を図っている。

## 保護者による評価

### 1.環境面

- ・人数に対してプールでの活動のスペースが狭く感じる。

### 2.適切な支援の状況

- ・一人一人レベルが違うのでプログラム進行が難しいと思う。サービス計画の開示がされていないため内容がわかりづらい。

### 3.保護者への説明等

- ・定期的に本人ができるようになった事や目標など、共有できると嬉しい。発達・課題を話す機会がない。プール後に様子など気になることはその都度指摘してくれます。面談ができていないこともあり伝えられていない。
- ・会はないが、子供たちの活動中に保護者同士情報交換などしている。

### 4.満足度

- ・子供はプールが楽しみと言っている。
- ・笑顔で通えている。
- 泳ぎ方も少し教えてもらえ、また自由に泳げて大変満足している。

## 事業所内での分析

### 【共通点】

- ・保護者の方と施設の環境設定など理解していただくことで継続して利用していただいている。
- ・見える支援によって子供の活動を見ていただくことで課題や問題点を話すことができる。

### 【相違点】

- ・活動場所のスペースに対する認識。  
スタッフ→狭い環境での安全管理 フロア台がない所への子どもたちの恐怖の認識 泳力の違い  
保護者→狭い場所でのストレス もっと遊ばせてほしい 泳力の向上

## 分析・検討結果

### 事業所の強み

- ・水の感覚を通して子供たちの刺激にアプローチで来ている。
- ・スイミングスクールと同じ環境に身を置くことで泳ぐことへの楽しさや、お友達との交流ができる。
- ・ギャラリーでの見学ができるので保護者の方の過ごし方も自由に対応できる。

### 事業所の改善点

- ・相談時間・面談の設定を定期的にしお子様の様子に対する支援内容の説明ができるようにする。
- ・支援内容の見える化。  
(一人一人のお子様へのアプローチ方法など)
- ・

### 事業所の改善への取り組み

- ・相談時間の設置 (利用時は来所・帰所時にスタッフより話かける)
- ・支援内容の見える化
- ・スタッフの研修実施 (専門的な療育相談ができるように)